

第 4 回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

1 土浦市将来の人口ビジョンに係るアンケート調査の結果について

No.	主 な ご 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・ 転入者は本市での生活面に満足している割合は多いが、不満を感じる項目として「治安が悪い」の意見が多い。「治安が悪い」の具体的な内容が分かるとよい。 ・ 「治安が悪い」の意見に関して、アンケートの自由記述欄にヒントがある。熱心な意見も多数あるので、A I などの技術を使って、整理してはどうか。	・ 「治安が悪い」の回答が多い点に関して、数値として出ているものとしては、都市データパックの「住みよさランキング」があり、全国の 815 市・特別区の中で、土浦市は前回の調査よりランキングが下がっています。 ・ その要因として、1,000 人当たりの刑法犯認知件数が 788 位、交通事故が 698 位と前回調査に比べて順位が下がっていることがあり、そういったところから治安が悪いと感じている人が多くなっているのではないかと考えています。 ・ A I の活用などについて、技術的なアドバイスをいただきながら整理していきたいと考えております。 対応 ・ 「参考資料」のとおり、アンケートの自由記述回答を整理・分析しました。
2	・ 出産関係について、国も支援しているが、出産費用は増額傾向にある。土浦市では出産等に関する補助はどの程度行っているのか教えてほしい。 ・ 出産費用は、医療機関によって異なるため、実態を調査してほしい。	・ 出産費用の平均額が約 45 万円から 50 万円であるといった状況を踏まえ、令和 5 年に国が出産育児一時金を 42 万円から 50 万円に増額したが、それでもまだ不足するという話を伺っています。 ・ 出産費用の実態を調査し、次回の会議で提示いたします。 対応 出産費用について ・ 全 国 452,288 円 ・ 東京都 553,021 円 ・ 茨城県 515,129 円 ・ 土浦協同病院 約 60～75 万円

第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

	・霞ヶ浦医療センター 55万円前後 出典：全国・東京都・茨城県は厚生労働省資料 土浦協同病院・霞ヶ浦医療センターはホームページ
--	---

2 第3期土浦市まち・ひと・しごと創生「総合戦略」（素案）について

No.	主 な ご 意 見 等	回 答 ・ 対 応
1	・総合戦略の戦略分野の順番を工夫するなど、優先順位が見えるような形にしてほしい。	対応 ・本市の課題は、合計特殊出生率が低いことにあるため、対応する戦略分野の「結婚・出産・子育ての応援、誰もが活躍できる地域社会の創造」について、優先的・重点的に取り組んでいく必要があると考えており、戦略分野の順番を以下のとおり修正いたします。 ・修正前 戦略分野Ⅰ 地域経済の活性化を通じた持続性ある雇用基盤の確立 戦略分野Ⅱ 暮らしやすさの向上による人口還流の創造 戦略分野Ⅲ 結婚・出産・子育ての応援、誰もが活躍できる地域社会の創造 戦略分野Ⅳ 長期的な視野に立った魅力ある地域の創造 ・修正後 戦略分野Ⅰ 結婚・出産・子育ての応援、誰もが活躍できる地域社会の創造 戦略分野Ⅱ 地域経済の活性化を通じた持続性ある雇用基盤の確立 戦略分野Ⅲ 暮らしやすさの向上による人口還流の創造 戦略分野Ⅳ 長期的な視野に立った魅力ある地域の創造

第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

2	・誰も取り残さないという視点はもちろん重要であるが、富裕層の確保という視点を総合戦略の中に入れることを検討してもよいのではないか。 ・各自治体でターゲットを分けた戦略を講じている。富裕層向けといったマーケティングも必要ではないか。	・先日、台湾の自転車メーカーのG I A N Tにツアーを組んでもらい、台湾の方に本市に来ていただいたが、ツアーは4泊5日で30万円程のプランであり、富裕層向けの取組の一つだと考えています。 ・今年の土浦全国花火競技大会では、観光会社2社に協力してもらい、リクライニングがあるなど少人数でゆっくり花火を観覧できるV I P席を試験的に導入する予定です。 対応 ・ご意見を踏まえ、第3期総合戦略（案）（P19）の戦略分野Ⅱの「基本施策②」「地域の宝の魅力向上による交流人口の拡大」の「主な取組」の中に、新たに「高付加価値旅行者の誘致促進の検討」を位置付けました。
3	・資料2の1ページを見ると、若者の地域への愛着について、「愛着がある」という意見が増えている。私が筑西市にいた時には、地域の高校生・大学生が筑西をプレゼンする「筑西まちづくりキャンパスチャレンジカップ」など、地域のブランディングに向けた取組に対して支援を行っていた。 ・土浦市においても、学生などの若い方が、地域でやりたいことに対して支援する取組を行ってほしい。	・若者への取組に関しては、前回の会議においても高校が多い特徴を生かし、高校生を全面に出した戦略が良いという意見がありました。 ・現在は、企画から運営まですべて高校生が行う「学祭TSUCHIURA」や高校の先生が立ち上げて行っている「土浦若者まちプロジェクト」があります。今年度は、土浦ティーンズフェスを行っているとともに、子ども食堂の運営などの高校生による自主的な活動が増えてきております。市としても引き続き支援していきたいと考えています。 対応 ・これまでの有識者会議のご意見を踏まえ、第3期総合戦略（案）（P15-P16）の戦略分野Ⅰの「基本施策④」において、「子ども・若者主体のまちづくりの推進」を新たに位置付

第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

		け、若者に対する取組を拡充しています。 ・筑西市では、大学生、高校生等による観光まちづくりに関するアイデアを競い、観光まちづくりの機運を高める参加型プレゼンションイベントを開催しており、本市の取組の参考とさせていただきたいと考えております。 ・本市では、筑波大学が主催している地域活性化シンポジウムを通して、筑波大学の学生から、土浦のまちづくりについて、若者の目線でご提案いただいているところですが、さらに、今年度新たに、若い世代の発想を本市のまちづくりに反映させるため、高校生と意見交換を行う機会を創出することを考えております。
4	・保育園に入園されるベトナム人の方が増えてきていると感じている。最近の外国人の方の流れを教えてほしい。 ・総合戦略を検討する上で、外国人が増えていることをもう少し意識してほしい。	・2019年に特定技能外国人の円滑な受け入れを促進するため、茨城県とベトナムが協定を結んで積極的にベトナム人を受け入れています。協定締結によってベトナム人が増えており、本市においては、現時点でベトナム人の割合が一番多い状況となっています。 ・そのため、ホームページや暮らしのガイド作成など対応をしている状況ですが、引き続きニーズを把握しながら、どのようなことができるか検討していきたいと考えております。 対応 ・これまでの有識者会議のご意見を踏まえ、第3期総合戦略（案）（P15）の戦略分野Ⅰの「基本施策④」において、日本語指導の充実や市立小中義務教育学校への多言語翻訳機の整備について新たに位置付けるなど、外国人市民に対する取組を拡充しています。
5	・つくば市との市境に整備されるスマートインターチェンジについて、本市と	・スマートインターチェンジについては、先日事業化が決定し、アクセス圏

第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

	同様につくば市も企業誘致等を考えている可能性がある。整備をなるべく早く進めるべきだと考える。	拡大に伴う新たな土地利用の創出による、企業誘致の促進や物流の効率化などの効果が見込めるのではないかと考えています。 対応 第3期総合戦略（案）（P20）の戦略分野Ⅱの「基本施策③」において、スマートインターチェンジの整備に関する取組を位置付けております。
6	育児休暇は各会社が作っている職員に対するサービスで、育児休業は法律で決まっている働く人の権利である。総合戦略の中で、育児休業と育児休暇を適切に使い分けてほしい。	- 休業と休暇が混在してしまっている箇所があるため、改めて内容を精査し、次の会議で提示いたします。 対応 - 第3期総合戦略（案）（P10-12）の戦略分野Ⅰの「基本施策①」の文言について、総合戦略（案）のとおり修正しました。
7	総合戦略にデジタル技術の活用に関する記述があるが、分野によって扱っているデジタル技術は違うと思う。土浦市として、「デジタル技術」というものをどのように認識しているのか。	- デジタル技術については、AIやRPAなど様々なツールがあるため、どうしてもデジタル技術と総称せざるを得ないところがあります。 - 例えば、キララちゃんバスのバスロケーションシステム導入やJ：COMスタジアムのオンライン施設予約システム導入など、様々な分野でデジタル技術が浸透してきており、社会課題の解決につながっていると考えています。
8	- アンケート結果では、「育児の心理的・肉体的負担」が2番目にあがっており、前回よりも10%増えているというデータが出ている。 - 子育てに関して、親と一緒に子どもを育てるという「共育て」の意識改革が必要だと考える。意識改革には、お金がかからないと思うので、この点に関	- 今回新たに男性の育児休業や家事育児の参画についても施策に追加しております。 - 追加理由は、岐阜市においてパパ大学という親になるお父さんに対して講座を開催し、400～500人が参加されているという事例があり、このような取組は本市においてもできるのではないかと

第4回土浦市まち・ひと・しごと創生有識者会議での主な意見とその対応について

	して戦略を考えていただきたい。	と考えています。 対応 ・これまでの有識者会議のご意見を踏まえ、第3期総合戦略（案）（P12）の戦略分野Ⅰの「基本施策①」において、「男性の育児休業取得と家事・育児の参画促進」を新たに位置付けており、取組を拡充しております。
--	------------------------	---

アンケートの自由記述回答の整理・分析について

1 概 要

【目的】

「第3期土浦市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」の策定にあたり実施したアンケート調査について、自由記述回答の内容を視覚的に把握するため、A Iによるテキストマイニング*1 ツールを用いて記述内容を整理・分析しました。

*1 テキストマイニング：テキストの単語を分析し、有益な情報を抽出すること

【対象とするアンケート及び設問】

設問内容に合わせ、2つに分けて自由内容を分析しました。

	アンケート対象（設問）	設問内容
(1)	高校生・大学生（問 22） 転入者（問 22） 転出者（問 19）	これからのまちづくりについてのアイデアや提案などを自由にお書きください。
(2)	子育て世帯（問 30）	最後に、将来にわたって住みよい活力ある土浦市にしていくための子育て支援策について、あるいは今後のまちづくりの方向性、市の行政全般などについて、御意見・御要望などがある場合は御記入ください。

(1) 高校生・大学生 (問 22)、転入者 (問 22)、転出者 (問 19) アンケート

出現頻度詳細から全品詞の中で「増加」の出現頻度が 179 と最も高く、「ほしい」171、「良い」102、「駅」91、「できる」68、「治安」63 の順になっている。

[illegible]

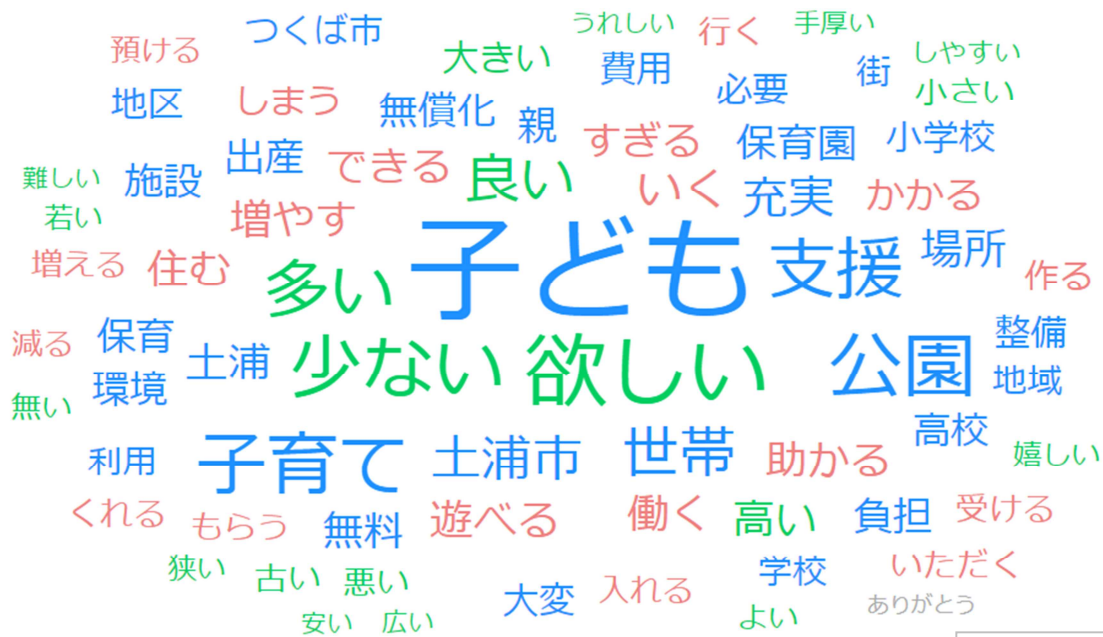
■ 名詞		■ 動詞		■ 形容詞	
	出現頻度 ▲		出現頻度 ▲		出現頻度 ▲
増加	179	できる	68	ほしい	171
駅	91	住む	50	良い	102
治安	63	つくる	41	多い	60
場所	56	作る	37	よい	54
駅前	49	いく	34	いい	51
バス	49	遊べる	32	欲しい	49
施設	42	行く	23	少ない	39
子育て	42	入れる	20	新しい	23
公園	38	考える	18	悪い	23
整備	37	くださる	18	高い	17
周辺	37	すぎる	13	住みやすい	16
子供	35	おる	12	楽しい	15
まち	34	しまう	12	しやすい	13
充実	33	ふやす	11	古い	13
道路	31	減らす	11	暗い	9

(2) 子育て世帯（問 30）アンケート

◆出現頻度順（文字が大きくなるほど文章中出现する言語の出現頻度が高く、中心に配置される）

出現頻度詳細から全品詞の中で「子ども」の出現頻度が 153 と最も高く、「公園」 87、「子育て」 82、「欲しい」 79、「支援」 77 の順になっている。

この点を踏まえて図の文字配置を見ると、「子ども」の周辺に「少ない」「欲しい」「支援」「充実」「公園」等が配置されており、土浦市の子育て支援の不足や公園整備についての意見が多かったことが伺える。



文字の色

青色：名詞

赤色：動詞

綠色：形容詞・形容動詞

灰色：感動詞

出現頻度詳細（各上位 15 位）

■ 名詞	出現頻度 ▲	■ 動詞	出現頻度 ▲	■ 形容詞	出現頻度 ▲
子ども	153	いく	35	欲しい	79
公園	87	遊べる	30	少ない	66
子育て	82	増やす	29	多い	58
支援	77	助かる	29	良い	46
世帯	58	住む	28	高い	28
充実	43	働く	28	大きい	22
場所	39	できる	28	悪い	18
土浦	37	すぎる	26	古い	17
出産	34	かかる	25	小さい	17
保育園	34	しまう	22	よい	14
無料	33	作る	19	無い	13
負担	32	もらう	18	嬉しい	12
親	32	くれる	18	狭い	11
保育	31	行く	18	若い	11
無償化	30	受ける	17	手厚い	10